

第14回議会報告会議事録（要約）

と き	平成29年5月12日（金） 19時～20時42分
と ころ	上久米公民館
テ ー マ	第1部：2月臨時会、3月定例会の報告について 第2部：車座で議員と語ろう（フリートーク）
参加者数	15人
担当議員（8名）	磯貝 邦夫 ・ 井上 茂和 ・ 山本 通廣 ・ 安田 朗 小川 忠市 ・ 岸本眞知子 ・ 長谷川幹雄 ・ 高瀬 俊介
書 記	小川 忠市 ・ 長谷川幹雄
特記事項	



【概況】

質疑・意見交換などを通じて相互理解を深めることができた。回答もご理解いただいたので、回答を保留したものもなかった。

第2部の班別によるフリートークは忌憚のない、活発な意見が出て良かったのではないかと感じた。今回のように車座形式の方が市民の方も意見が述べやすいと感じた。

Q：質問、要望等 A：回答

【 第1部 】	
Q	<p>地域公共交通網形成計画が策定され、その中で、社～三田線の路線変更が計画されており、一部区間を廃止して「米田ふれあい号」が代替する計画が示されている。</p> <p>元々「米田ふれあい号」導入は、公共交通空白地をカバーするのが目的だった。従って、現有の公共交通の路線を廃止して、有償運送事業に振り替えるのは本末転倒ではないか。また、「米田ふれあい号」は約20カ所の停留所で停車しているが、この計画により停留所がさらに増えることは運転手の負担がかなり増すのではないかと危惧してい</p>

る。確かに、兵庫教育大学や県立嬉野台生涯教育センターは、加東市のランドマークであるので、アクセスは確保すべきだと思うが、路線を廃止して有償運送事業が代替するのではなく便数を増やして対応すべきだと思う。

A この計画は、市民や学識者、交通事業者などで構成する「加東市地域公共交通活性化協議会」で協議し策定された。

先ほどのご指摘の件は、交通網全体を考慮しての計画であるが、貴重なご意見としてお聞きし、所管の委員会の場でも市民からの意見として当局へ伝える。（補足説明：公共交通補助事業関連予算は約3,800万円）

Q 今後、この計画通りに実施すれば運転手を増やすとか、便数を増やすとかになるのか。

A 地域公共交通網形成計画では、社～三田線の有償運送事業で代替してはとの計画であり、台数を増やすとかの具体的な事は全く決まっていない。

Q（意見） 現在、有償運送事業に関わっているが、燃料代の集計やその支払いとかの事務処理が結構大変である。今後、便数を増やしたりなど米田地区への負担が増せば運転手の確保とかが心配である。と感じたので意見を述べた。

【 第 2 部 】

第 1 グループ

- ・ 6月から自主運行バスの運転手をする者だが、1部であった「米田ふれあい号」の停留所が増えた場合、あの県道は狭いし、交通量も多いので停車は怖いし不安がある。
- ・ 害獣対策では、イノシシが農作物ばかりではなく、土手の斜面や農業施設まで掘り返して困っている。侵入防止資材については補助金で購入できるが、設置は集落でしなければならない。また、害獣が掘り返し、水路に落ちた泥等も地区住民で処理しているが、農家の人口が減少、高齢化しているので、市としても対応を検討して欲しい。
- ・ 消防団員不足は感じているが、地域力アップのための消防団組織は必要である。また、後方支援的な位置づけとして「女性消防団」を設置したらどうか。
- ・ 昼間は働きに出るため高齢者のみになってしまうので昼の食事が心配である。そのような世帯に昼食お弁当の配達サービスがあればよいが・・・。

第 2 グループ

- ・ 「米田ふれあい号」について、運転手について今は何とか回って（確保）いるが、将来的な課題として今の状態を持続して行けるのか不安である。
- ・ 消防団については、平時の火災等については出動が難しい状況である。
- ・ 中国自動車道路の側道の管理について意見があった。

第 3 グループ

- ・ 加東市民病院の救急の対応が悪い。救急等に対応できなければ民営化移行などについて検討したのか。議員からは、医師不足で経営状態は深刻だが地域の基幹病院として存続すべきでは。との意見交換があ

	<p>った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自主運行バスで今後運転手の確保が難しいと感じる。運転手の年齢制限70歳(※1)を引き上げてはどうか。地域住民の移動手段として自主運行バスは残して欲しい。タクシーを上手く利用できないのだろうか。 ・ 加東市において地籍調査はどうなっているのか。市街化区域は課税の関係で実施していると思うが、農地や山林も法律に基づいてやるべきではないか。
<p>当局に照会・要望すること</p>	
<p>議会で対応すること</p>	

※1【市当局に確認】

運転手の年齢制限は73歳までとして募集している。

(ただし、73歳までの間に運転手として活動されている方は、決められた講習を受けた場合75歳まで運転できるとしている。)